

(二面から続く)

です。全面的な利用料の引き下げが無理なら、せめて低所得者に対し、減免などの対策を講じ、誰もが利用できるようにしてほしいと思いますがお考えをお聞きます。

市長 児童ホームの定員については、ひとつの考え方として受けとめさせていただきます。子育て支援センターについては、国で次世代育成支援対策交付金を作られたようだが、交付金はどうなるのかも踏まえて、行動計画の中への取り組みを考えていきたい。

ファミリーサポートの利用料は、三十分、四百五十円という定額です。現時点では、所得に応じた料金設定にいたす考えは持ち得ていません。

公共施設のアスベスト対策は

稲垣議員(公明党)

環境対策について アスベストは、吸い込んでから発病まで長い潜伏期間があることから「静かな時限爆弾」と呼ばれています。直径が髪の毛の五千分の一と細く、とても軽いためすぐに空気中に舞い上がり、吸い込むと肺がんや中皮腫、石綿肺を引き起こします。日本では、一九六九年からの約二十五五年間で、アスベストが大量に使われ始めました。アスベストは燃えず、加工しやすく安価で、かつてはその特性から「夢の物質」と言われて、日用品を含む三千種類に使われ、石綿ス

レートを中心とした建材やコンクリート建物の天井や壁への吹き付け材、水道管や煙突などに使用されてきました。本市では、いち早くアスベストの飛散で市民が健康被害健康不安を抱かないように相談窓口を開設し、コミセンや学校の公共施設百二十一カ所を対象に確認調査を実施した結果、吹き付けアスベストがないことを確認しました。また、詳細な分析が必要なアスベストを含有している可能性の高いロックウールについては、九施設十六カ所よりサンプリングし、専門機関に調査依頼を行っていますが、この

公共建築物の保全について

上沢議員(公明党)

公共施設の保全マニュアルについて 建物は、初期建設費用であるインシヤルコストと光熱費・保全費・改修更新などのランニングコストで構成されます。初期建設費用は全コストの四分の一にすぎず、残りの四分の三がランニングコストであると言われています。近年は、スクラップ・アンド・ビルドからいかに適正に建物の維持管理をし、改修等を加えていくかでライフサイクルコストを低減し、さらに建物の寿命を延ばしていくストック・アンド・メンテナンスの時代に入ったと言われています。その考え方に対するご所見を伺います。

次に、大規模改修工事は、実施計画に載せ予算化しなければならぬため、工事完了

まで最低二年はかかります。例えば、さがみ野小学校の体育館の雨漏りは、補修を繰り返した結果、経年変化によって老朽化し、大規模改修工事が必要となっていますが、実施計画に載せてからの対応では遅すぎます。このような重要かつ緊急性を要する案件の対応についてご所見を伺います。

また、施設保全マニュアルによる管理についてもご所見を伺います。

市長 建物は、補修や補強をしてできるだけ長く使っていくとよいと考えています。大規模改修工事については、実施計画で三年ローリングしており、緊急性を要する工事については、その都度対応しています。

保全マニュアルの作成は、現状を踏まえて実施の方向で検討させていただきます。

十六カ所については、現在、飛散防止対策をどのようにしているのか。また、詳細分析で悪い結果が出た場合の今後の処置をお尋ねします。

市長 十六施設は、暫定的に全て封鎖施設で立入禁止の応急処置を取っています。そして、それぞれのサンプリング結果を受け、当然除去や囲い込み等の適切な対応をしていきます。

休み等の早期保育についても、この夏休みから実施されました。新たな児童ホームの設置により平成十七年四月初、八十四名であった待機児童に対しては、一定の解消が図られたものと評価いたしますが、依然、待機児童は存在している現状です。

本市の「次世代育成支援行動計画」の中では、平成二十一年までに、十三カ所の児童ホームの設置を目標に掲げています。待機児童の早期解消に向けて、既存の施設等の活用により可能なところから

本市の「次世代育成支援行動計画」の中で、平成二十一年までに、十三カ所の児童ホームの設置を目標に掲げています。待機児童の早期解消に向けて、既存の施設等の活用により可能なところから

牧嶋議員(無会派)

児童ホームの充実について 本市の児童ホームは、「放課後の児童健全育成事業」として公設公営で実施されています。この五月、新たに立野台小学校の空き教室を活用して児童ホームが開設されました。これにより市内十一の小中学校に対し、十一カ所の児童ホームが設置されました。また、要望が多かった長期

待機児童の早期解消を

に誰がいるか分からないような場合には、国勢調査では世帯数にカウントされないはずで、都市部の実感からすると実際の世帯数とは一定の差があると考えられます。オートロックのマンションに入らず中の人にも会えないという状態も現実にあります。けれども、二〇〇〇年の国勢調査と同じ月の人口統計では県内の世帯

信憑性のない国勢調査

竹市議員(市民連合)

個人情報保護に関して 国勢調査の調査員は調査票の配布・回収と同時に、世帯ごとの所在地や男女別の人数を一覧表にした世帯名簿を作成し、その数値が速報値として発表されますが、これをめぐり調査の信憑性を揺るがす事態が生じています。例えば集合住宅などの部屋

に誰がいるか分からないような場合には、国勢調査では世帯数にカウントされないはずで、都市部の実感からすると実際の世帯数とは一定の差があると考えられます。オートロックのマンションに入らず中の人にも会えないという状態も現実にあります。けれども、二〇〇〇年の国勢調査と同じ月の人口統計では県内の世帯

学校における個人情報の保護は

伊澤議員(市政クラブ)

教育問題について 学校における個人情報の保護や取り扱い、情報公開に向けての体制整備については、教育委員会の指導のもとで準備が進められているものと考えますが、現状において、学校で取り扱う個人情報について、どのような把握され、保護についてはどのような対策が打ち出されてきているのか。また、情報公開に向けては、どのように体制整備が進められてきているか、保護者に対してどのような趣旨の説明がされ、理解と協力が得られるようになってきているのか。さらに、各学校に対しては、個人情報保護の安全管理及び情報公開

についてどのように助言され、研修など実施されてきているのかお示しください。

教育長 個人情報の取り扱いには、基本的には市の個人情報保護条例によります。この内容をよく理解して慎重に対応していく必要があると認識しています。なお、学校が保有している個人情報は、市の個人情報取り扱い事務登録簿に掲載してその手順に従っています。

情報公開に向けての体制整備

桜並木歩道の安全対策を

大矢議員(政和会)

市道十三号線歩道の安全対策について さがみ野駅から東中学校までの市道十三号線桜並木と平行する歩道の安全対策についてお聞きします。この歩道は、かつて「畑灌」と呼ばれた畑灌漑水路の上に存在しておりますが、近年、歩行者と自転車の接触事故が多発しています。特に朝夕の通勤・通学時や、さがみ野商店街の買い物客がふえる時間帯さらに、東原小学校の通学路であること、散歩やウォーキングをす

る方も非常に多い状況ですが、歩行者の安全をどう確保していくのかお聞きします。

また、市道十三号線に接する各市道の交差点は、歩道が存在するために、歩行者及び自転車と車両との出会い頭の事故が発生する危険性が高いと思っております。具体的な対策についてお伺いいたします。

都市部長 市道十三号線の安全対策につきましては、現在、桜並木の桜の老朽化、老木化が進んでおり、これに伴

避難所の充実を

佐藤議員(政和会)

防災対策について 万が一の災害に備えて避難場所の充実が必要不可欠な重要な事です。広域避難所・一時避難所の整備について伺っています。

また、どのような方法で地域住民へ周知徹底する予定なのかをお伺いいたします。一時避難所は各自防災組織で選定する事になっておりますが、近隣市ではホームページに一時避難所を掲載している所もございます。自主防災組織と一時避難所の数及び周知方法をお伺いいたします。

災害時には近隣市に越境して

(四面に続く)